

2013 年の取組み

◆委員会の名称を大震災支援活動から、復興支援へ改称した。

第 1 回東日本復興支援実行委員会 5 月 29 日 講堂で

2013 年度の活動 決定

1. 国分寺「ギャラリーうおーく」には出店不参加
2. 農工大学園祭 11 月サークルごとに検討
3. 作品展で販売できないか → 不可
4. 南相馬支援はバザーで資金を集め、実行部隊への交通費などに補助する

2013 年度委員会取組み実績

- ①国分寺「ギャラリーうおーく」に代わるものとして、10 月小金井なかよし市民まつりに参加する。
- ②材料費については、各サークルともサークル活動の運営通常経費以外の繰越金を回すなどの工夫を友の会役員会からお願いした。
- ③バザーでは南相馬支援アピール（お味噌も販売も）と友の会の案内ちらしを配布。

2013 年度の南相馬支援活動

前年に相馬農業高校で提案した藍栽培を具体化させる時期を迎えた頃に、中村研の三村研究員から森さんの畑を借りられるニュースが届き、ここから南相馬市鹿島区の皆さまとの交流が始まった。

1. 休耕田に藍の種まき・苗を植え、＜藍の生葉染＞および、乾燥葉の作り方と染め方の実習  
藍の葉を乾燥すると、いつでも染めて楽しめることから、農家民宿ではお客さまへ染め体験を提供できる
2. 南相馬と言えば、“野馬追い”何かお土産になるものを考え、＜わらの馬＞つくりの講習会を実施。  
来春、わらを得る為に田植えする計画につながった。また、市博物館を訪問し＜わらの馬＞を子どもを対象とした教室で取組みできないか相談し、年末に親子体験教室で実現した。
3. 2011 年 3 月 11 日以前に仕込んでおいた味噌が、無事であったことが分かり、お味噌の販売に協力。
4. サークル冬休みに藍染とわら工芸以外の会員にも南相馬を知っていただくために、貸切バスでの訪問を企画し、実行した。

2013 年度南相馬での活動実績

- 5 月 お日さまサロン(鹿島区の婦人会)の皆さまと藍の苗植え
- 7 月 わらの馬づくり 講習会
- 8 月 藍の生葉染 講習会
- 10 月 小金井なかよし市民まつり に参加 バザー
- 11 月 国分寺市 くらふと・まるしえ参加 バザー
- 12 月 ①南相馬市博物館 わら馬体験教室  
および お日さまサロン わらの亀づくり  
②復興会議 ワークショップほか バスツアー

**改めて活動指針の確認**  
●担い手は地域の方々  
●友の会は復興活動を支援。  
・伝統手工芸による交流  
・休耕田の活用  
・経済的価値を持った地域特産品の開発までお手伝いする

活発な支援活動



展開可能になったのは、実際に南相馬まで手弁当覚悟で訪問した OBG と、受け手の民宿の皆さまとの良い出会いがあったことが大きい。ことにリーダー役の森さん、小倉さんが我々のやる気を盛たてて下さる素晴らしい受け手。諦めなくて本当によかった！

また、中村先生が終始保護者のごとく付添い、三村さんも率先して我々の活動を援助された。この師弟コンビによるつかえ棒が強力な支えになった。